

ALBIT®

ALL BASICS IN TECHNOLOGY OF SOUND

A1BP VINTAGE

取扱説明書

この度は、A1BP VINTAGEをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ベース本来の自然なサウンドでもある、木材によって醸し出される豊かな低域の含み具合と中高域に張りのある、至高とも言えるビンテージなサウンドを、より頂点でリアルに再現する為に誕生した、真空管と半導体によるハイブリッド構造のプリアンプが、心地よくレトロなサウンドでメロディアスな音の世界を広げます。この説明書をよくお読みになって、理想的な環境でビンテージなサウンドをお楽しみ下さい。



※規格及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。

【製品仕様】

- 電源: AC9V (付属専用アダプター)
- コントロール: VOLUME・TREBLE・MID・BASS・SEND・MASTER/R/RETURN (DISTORTION) GAIN・MIX
- スイッチ: DISTORTION・OUTPUT LEVEL SELECT・MUTE
- インジケーター: MUTE (赤)・POWER (青)・DISTORTION (赤)
- 端子: INPUT・TUNER OUT・SEND・RETURN・OUTPUT・BALLANCE OUT/HEADPHONE・AC ADP. JACK・AUX IN
- 入カインピーダンス: 470KΩ
- 出カインピーダンス: UNBALANCE OUT=470Ω
BALANCE OUT=100Ω
- 標準出力電圧: +4 dBm
- 外形寸法: 150mm (W) × 106mm (D) × 61mm (H)
- 重量: 608 g
- 付属品: AC/AC専用アダプター×1・取扱説明書・保証書

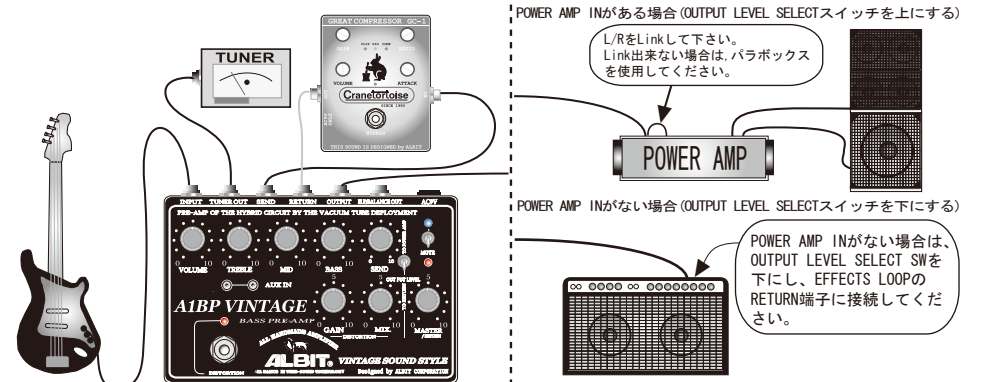
【各部機能】

- INPUT: 楽器を接続するハイインピーダンスの入力端子で、アクティブ・パッシブのどちらでも接続可能です。
- TUNER OUT: チューニングメーターを接続する端子です。
- SEND JACK: エフェクターのインプットに接続します。
- RETURN JACK: エフェクトループのリターンジャックで、エフェクターのアウトプットより接続します。
- OUTPUT: 外部の機器に接続する為の出カジャックです。
- HEADPHONE: インピーダンスが30Ω以上のヘッドフォンまたは、フォンプラグのバランスコードでバランスアウトとして主にミキサー送り等に使用します。※このヘッドフォン端子はラインアウトの出力を代用している為、ヘッドフォンのL/Rの位相が逆になっています。ご了承お願いいたします。
- AC9V: 付属の専用アダプターを接続します。青いLEDが点灯し電源がONになります。他のアダプターを使用するとA1BP VINTAGE本体、またはアダプターが破損しますので、使用しないで下さい。
- VOLUME: プリアンプのヘッドアンプ部分 (PRE-VOLUME) のボリュームで、音量を調整します。
- TREBLE: 高音域を調整するコントロールで、右に回すほどブーストします。
- MID: 中高音域を調整するコントロールで、右に回すほどブーストします。
- BASS: 低音域を調整するコントロールで、右に回すほどブーストします。
- (DISTORTION): フットスイッチをONにして、赤のLEDを点灯させて下さい。歪んだサウンドがミックスされます。
- GAIN: 歪み加減を調整するコントロールで、右に回すほど、強く歪みます。
- MIX: 歪んだサウンドを生音にミックスする為のコントロールで、右に回すほど歪んだサウンドの含み具合が増加します。※このディストーションは軽く歪むクランチタイプのディストーションで、ディストーションとしての使用方法とは別に、このGAINをわずかに上げ、歪みをさほど感じない程度の音をミックスする事で、輪郭の増したサウンドになります。
- OUTPUT LEVEL SW: OUT PUTより接続する機器に合わせて、出力をPOWER AMPレベル、またはRETURNレベルに切り替えます。

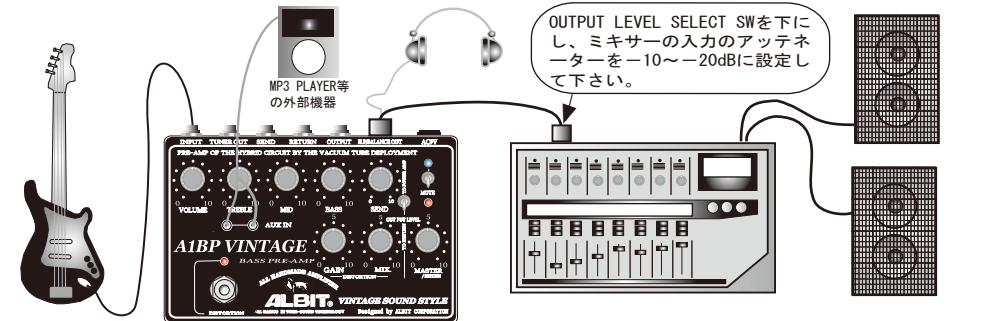
- SEND: 接続されたエフェクターに信号を送り出すコントロールで、エフェクターが歪む直前まで上げて下さい。
- MASTER/RETURN: 全体の音量をコントロールするツマミで、各々セットアップされたレベルを変える事なく、音量を調整します。また、SEND/RETURNにエフェクターを接続した場合は、MASTERを兼ねたRETURNコントロールになります。
- MUTE: チューニング時など音を消したい時に、このスイッチノブを下側にします。スイッチ下側の赤いLEDが点灯します。
- AUX IN: ヘッドフォンステレオのヘッドフォン出力端子を接続する事によって、音楽ソースによる夜間練習も可能です。尚、このヘッドフォン出力は、モナルドで再生し、ステレオにはなりません。ヘッドフォンステレオの音量調整は、ヘッドフォンステレオ側で行って下さい。この入力に対する、A1BP VINTAGEの機能するコントロールは、MUTEスイッチのみです。

【使用例】

SEND・RETURNにエフェクターを接続した基本的な使用例です。下のイラストは、エフェクターをCranetortoiseのGC-1を使用し、TUNERも接続しております。A1BP VINTAGEのOUTPUTより、POWER AMPのINPUTに接続して頂き、POWER AMPのSP OUTより、エンクロージャーへ接続して下さい。



ヘッドフォンステレオを使用する場合や、ミキサーを使用する場合、ヘッドフォンを接続する場合の接続位置は、下記の図を参照して下さい。



※注意: ACアダプターを使用する際は、必ずACアダプターのプラグを根元まで確実に差し込んでください。

【お問い合わせ先】

- ALBIT・Cranetortoise製品全般及び修理に関するお問い合わせ先
TEL:048-928-1637 FAX:048-922-5742
- ALBIT・Cranetortoise製品全般の修理送り先
〒340-0035
埼玉県草加市西町1382-3 アルビットコーポレーション
- メールのお問い合わせ先 info@albit.jp
- 最新情報はホームページにて http://www.albit.jp

